

1 経営の基盤

(1) 地域の実態

象潟地域は、にかほ市の南端、山形県との県境に位置しており、西には日本海が広がっている。市の一部は鳥海国定公園に指定されており、南には霊峰鳥海山が聳え、その北西の裾野には、江戸時代までは西の松島とも謳われた天然記念物九十九島が広がっている。秋田県の中では最も温暖であり、自然豊かで風光明媚な地域である。この優れた自然環境は、平成28年に「鳥海山・飛島ジオパーク」に認定されている。

象潟地域は歴史・文化の薫り高い地域でもあり、俳聖松尾芭蕉が訪れた最北の地として、また奥の細道で「象潟や雨に西施がねぶの花」と詠った土地としても有名である。さらに平成30年には、にかほ市が「～北前船寄港地・船主集落～」として日本遺産に認定されている。

産業としては、農業、林業、漁業、建設業、製造業、商業、サービス業などがあるが、製造業が最も盛んで、製造業に従事している保護者が多い。

本校は、平成30年4月、象潟小学校、上浜小学校、上郷小学校の3小学校が統合し、象潟地域唯一の小学校、新生象潟小学校として再出発した。そのため、地域の学校に対する関心は高く、保護者のみならず地域住民も教育活動に協力的である。また、関係諸機関との連携も良好であり、学校を取り巻く教育環境に恵まれている。

(2) 児童の実態

統合後8年が経過し、児童の間に居住地域による垣根はなく、学年をまたいだ全校縦割り活動により、同学年の児童のみならず、異学年の児童とも仲よく活動している。

副題「かしこく ゆたかに たくましく」の「かしこく」は、進んで学び続ける子どもを、「ゆたかに」は、思いやりの心をもち、仲間や地域を大切にする子どもを、「たくましく」は、自他の命を大切にし、あきらめず、粘り強く、やり抜く子どもを育成することを目指している。この3つの言葉は、本校校歌『笑顔輝く』にも歌われている。

「かしこく」については、前年度の諸検査結果を見ると、教科平均は全国・県と比較して改善がみられたが、学習意欲は、県平均を大きく下回り課題となっている。児童の主体性や対話を大切にした授業改善や基礎基本の定着を図るために個に応じた指導の充実を図っていく必要がある。

「ゆたかに」の領域では、「自分にはよいところがある」と感じている児童が、学年によっては県平均を大きく下回っている状況が見られる。また、日常生活において遊び方をめぐるトラブルや、SNS上でのやり取りによる行き違いなど、互いの思いや考えを十分に理解し合えずに生じる小さなトラブルも確認されている。これまで課題としてきた「あいさつ」については、家庭や地域と連携しながら改善に向けた取組を継続している。今後も、一人一人が安心して過ごせる居場所を確保するとともに、縦割り活動や委員会活動などを計画的に実施し、互いを認め合い、尊重し合う場面を意図的に設定していく。こうした活動を通して、児童の「よさ」が見える機会を増やし、自己肯定感を高めるとともに、思いやりの心を育んでいきたい。

「たくましく」については、自分の目標や夢をもち、各得意分野で自信をもって活躍している児童が多い。さらに可能性を広げるため、途中で困難にあっても、あきらめず最後まで粘り強く取り組む力を身に付けさせたいと考える。昨年度は大きな事故は起きていないものの、地域の方から交通安全に関するご連絡をいただく事案もあり、登下校時の安全意識には引き続き丁寧な指導が必要な状況である。また、夜更かしによる睡眠不足や朝食を摂らずに登校する児童もあり、体調不良につながるケースも見られる。基本的な生活習慣の定着が十分でない児童については、こども園・中学校・家庭と連携しながら、基本的な生活習慣の確立を目指していきたい。

2 学校教育目標と経営の基本方針・校訓

(1) 学校教育目標と副題

ふるさとに学び、夢に向かって努力する子どもの育成

～ かしこく ゆたかに たくましく ～

副題の「かしこく」は、進んで学び続ける子どもの育成を指し、「ゆたかに」は、仲間を大切に思いやりある子どもの育成、「たくましく」は、自他の命を大切にすることも、あきらめず、粘り強く、やり抜く子どもの育成を指す。この言葉は、校歌『笑顔輝く』の歌詞にも記されている。

(2) 経営の基本方針

1 信頼関係を基盤とした、笑顔輝く学校づくりの推進

教師と子どもが温かい信頼関係で結ばれ、子ども同士が互いのよさを認め合い、支え合う学級・学校づくりを進める。その中で、「確かな学力」「思いやりの心」「自他の命を大切にすること」「あきらめず、粘り強くやり抜く力」を育て、子どもたち一人一人が自分らしく輝く学校をめざす。

2 ふるさとを学びのフィールドとする「にかほ地域学」の推進

ふるさと象潟、そしてにかほ地域の自然・文化・歴史・人との出会いを通して、「ふるさとを知る」「ふるさとを愛する」「ふるさとに貢献しようとする」心を育む。そのために、地域とともにある学校として、地域資源を積極的に活用し、子どもたちの学びを豊かにする。

(3) 校訓「しんこうたいはん心廣體胖」（中国儒教の経書「大学」より）

【心（こころ）広（ひろ）くして体（タイ）胖（ゆた）かなり】

「心を広くもち、いろいろな人や考え方や物事を温かい心で受け入れる（多様性）」の意

3 目指す姿

(1) 目指す子ども像

- 進んで学び続ける子ども 『かしこく』 ※「できた姿」と振り返りの充実
 - ・めあてをもち、「わかろう」「できるようになろう」と努力する子ども
 - ・自分の考えをもち、学び合いに活かし、磨き合って伸びようとする子ども
 - ・学んだことの意義を感じ、自分の生活に活かそうとする子ども
- 仲間や地域を大切にすること 『ゆたかに』 ※親切・思いやりを重点内容項目に
 - ・だれとでも明るくあいさつを交わし合う子ども
 - ・思いやりの心を持ち、自分の行動に表すことができる子ども
 - ・善悪の判断ができ、正しい行動ができる子ども
- 自他の命を大切にすること 『たくましく』
 - ・自らの健康に関心を持ち、規則正しい生活ができる子ども
 - ・安全に気を配り、周りの人にも働きかけながら事故防止に努める子ども
 - ・自分の夢や目標に向かってあきらめず、粘り強く、やり抜く子ども

(2) 目指す教師像

- 学ぶ意欲を引き出し、学力の保障に努める教師
 - ・教材研究を深め、学習の必要感を感じ取ることができるよう、吟味された課題から始まり、まとめまで整合性のとれた授業を展開する教師
 - ・子ども同士の学び合いを大切に、子どもの考えを授業のまとめに生かす教師
 - ・個に応じた支援を考え、実践する教師
- 子どもに寄り添い、子どもを理解する教師
 - ・子どもに目と心を配り、小さな変化を見逃さず、心を通わせる教師
 - ・子どもの特性を理解し、必要な対応について学び、実践する教師
- 子どもを励まし、成長を支えることができる教師
 - ・よいことは認め、褒め、失敗は、しっかり寄り添い、どうすればよいか、一緒に考え、よりよい方向へ導くことができる教師

(3) 目指す学校像

- 地域に開かれ、地域を生かした触れ合いのある学校
 - ・ 諸行事等が地域に開かれ、地域の方々が集い、子どもと触れ合える学校
 - ・ 地域の自然や歴史、文化、産業などについて地域の方々から積極的に学ぶ学校
- 子ども、教職員、保護者が信頼感で結ばれた学校
 - ・ 子どもと教師、教師と保護者のコミュニケーションが大切にされ、互いの思いを理解し合って子どもを育てようとする学校
- 教育環境が整った安全・安心な学校
 - ・ 関係機関と連携して、子どもの学習・生活環境の点検・整備に努める学校

4 経営の重点と具体的施策

(1) 学習意欲の向上と学力の定着『かしこく』

- 主体的・問題解決的に学ぶ授業展開の構築
 - ・ 主体的に向き合える課題を設定する。
 - ・ 問題解決的な「学び方」の定着を図る。
- ユニバーサルデザインに基づく授業づくり
 - ・ 子どもが単元及び1単位時間の見通しをもって学習できるようにする。
 - ・ その学習が、何にどう役立つのか、学ぶ意味が子どもに分かるようにする。
- 生徒指導の実践上の4つ視点を生かした授業づくり
 - ・ 自己決定の場を設け、主体性を育てるとともに、対話を通して互いに学び合い、学んだよさを共有する協働的な学びを推進する。
- 諸検定への挑戦
 - ・ 漢字検定などへの挑戦を励まし、努力の継続と達成感を育てる。

(2) 豊かな心を育む教育活動の充実『ゆたかに』

- 子ども一人一人にとって居場所のある、居心地のよい学級づくり
 - ・ Q-U調査や学校生活アンケートを活用して子どもの人間関係や思いを把握し、指導に活かす。
 - ・ 互いを認め合い受け入れる心を育てるため、多様性理解の学習を取り入れる。
- 自己有用感、自己肯定感を高める活動の充実
 - ・ 異学年交流や縦割り活動を計画的に行い、認め合い・生かし合う場をつくる。
 - ・ 子どもの「よさ」が見える場面を意図的に設定する。
- ふるさと象潟・にかほをフィールドにした「にかほ地域学」とキャリア教育の推進
 - ・ 全教育活動を通じてにかほ地域学に取り組み、ふるさとを知り・愛し・貢献しようとする心を育てる。
 - ・ キャリアノートなどを通して、家庭と連携し、継続的に行っていく。
- 「特別の教科 道徳」の着実な実践と全教育活動を通じた道徳教育の充実
 - ・ 考え、議論することを大切にして、ねらいに迫る道徳の授業を実践する。
 - ・ 帰りの会でのふり返りや「思いやりの木」など、日常の教育活動を通して親切・思いやりの心を育てる。

(3) 生きる力を高める教育活動の充実『たくましく』

- 望ましい生活習慣を育む指導の継続
 - ・ 基本的生活習慣の確立に向け、家庭・地域と連携して指導・啓発を継続していく。
 - ・ ネット情報のトラブルを未然に防ぐ力を育てるため、活用の仕方を学ぶ機会をつくる。
- 地域との連携を図った防災教育の推進
 - ・ 避難訓練の日常化を図るとともに、学校近隣の町内と一緒に防災訓練を実施する。
- 継続した体力づくりの実施
 - ・ 外遊びを奨励するとともに、マラソンやなわとびへの継続的な取組を計画する。
 - ・ 課外の陸上部への参加を積極的に勧め、挑戦する姿勢を育てる。
- 自分の夢や目標に向かって、あきらめず、粘り強く、やり抜く力の育成
 - ・ 『夢カード』の掲示とともに、学期毎の振り返りカード、キャリアノートなどを活用し、自分の夢や目標を大切に作る気持ちを高める。

(4) 信頼される開かれた学校づくり

- 学校運営協議会を核とし、地域と連携した学校運営
 - ・ 学校運営協議会を核とし、学校の課題を率直に示し、熟議を通して改善につなげる。
- 教育相談の充実とニーズに応じた対応
 - ・ 不登校傾向の児童を含め、個別の支援が必要な児童を中心に、外部の専門家も活用して積極的に保護者を交えた教育相談を行い、ニーズに応じた支援ができるようにしていく。
- 地域の素材、人材を積極的に活用した教育活動の推進
 - ・ 各教科・領域はもとより、必修クラブにも積極的に地域の指導者を活用する。今年度は、茶道、郷土芸能、版画クラブに地域の方が指導してくださる予定となっている。
- 学校報、学校ホームページ、メール配信システム等を活用した積極的な情報発信
 - ・ 学校報は月2回の発行を原則とし、ホームページは随時更新、メールは必要に応じて配信して、学校の取組や子どもの成長を分かりやすく伝える。

5 学校経営の全体構想

秋田県学校教育が 目指すもの	学校教育目標	にかほ市学校教育の目標
豊かな人間性を育む 学校教育 Ⅰ 思いやりの心を育てる Ⅱ 心と体を鍛える Ⅲ 基礎学力の向上を図る Ⅳ 教師の力量を高める	ふるさとに学び、 夢に向かって努力する 子どもの育成 ～かしこく ゆたかに たくましく～ しんこうたいはん 校訓「心 廣 體 胖」	夢をもち、心豊かで、 元気な子どもの育成 ～「活かす力」を育む 学校教育の推進～

目指す学校像	目指す子ども像	目指す教師像
①地域に開かれ、地域を活かした 触れ合いのある学校 ②子ども、教職員、保護者が 信頼感で結ばれた学校 ③教育環境が整った 安心・安全な学校	①進んで学び続ける子ども ②仲間や地域を大切にする子ども ③自他の命を大切にする子ども ④自分の夢や目標に向かって、 あきらめず、粘り強く、やり抜 く子ども	①学ぶ意欲を引き出し、 学力の保障に努める教師 ②子どもに寄り添い、 子どもを理解する教師 ③子どもを励まし、成長を 支えることができる教師

学校経営の基本方針
1 信頼関係を基盤とした、笑顔輝く学校づくりの推進 教師と子どもが温かい信頼関係で結ばれ、子ども同士が互いのよさを認め合い、支え合う学級・学校づくりを進める。その中で、「確かな学力」「思いやりの心」「自他の命を大切にする心」「あきらめず、粘り強くやり抜く力」を育て、子どもたち一人一人が自分らしく輝く学校をめざす。
2 ふるさとを学びのフィールドとする「にかほ地域学」の推進 ふるさと象潟、そしてにかほ地域の自然・文化・歴史・人との出会いを通して、「ふるさとを知る」「ふるさとを愛する」「ふるさとに貢献しようとする」心を育む。そのために、地域とともにある学校として、地域資源を積極的に活用し、子どもたちの学びを豊かにする。

経営の重点			
学習意欲の向上と 学力の定着	豊かな心を育む 教育活動の充実	生きる力を高める 教育活動の充実	信頼される 開かれた学校づくり
○主体的・問題解決的に学 ぶ授業展開の構築 ○ユニバーサルデザイン に基づく授業づくり ○生徒指導の4つの視点を 生かした授業づくり	○子ども一人一人にと って居場所のある、 居心地のよい学級づ くり ○自己肯定感や自己有 用感を高める活動の 充実 ○ふるさと象潟・にか ほを題材とした「にか ほ地域学」とキャリ ア教育の推進 ○「特別の教科 道徳」 の着実な実践と全教 育活動を通じた道徳 教育の充実	○望ましい生活習 慣を育む指導の 継続 ○地域との連携を 図った防災教育 の推進 ○継続した体力つ くりの実施	○学校運営協議会を 核とし、地域と連 携した学校運営 ○教育相談の充実と ニーズに応じた対 応 ○地域の素材、人材を 積極的に活用した教 育活動の推進 ○学校報、学校ホー ムページ、メール 配信システム等を 活用した積極的な 情報発信

研究主題

主体的・対話的に学び、確かな学力を身に付ける子どもの育成
～よりよい「解決」・「価値」が広がる対話の充実～

6 期別学校経営の重点

期	月	テーマ	経営の重点
I	4 5	確立	○年間経営計画と運営組織の確立 ○学習・生活の基盤づくり
II	6 7	実践	○校内研修の推進と学習指導の着実な実践 ○基本的な学習・生活習慣の定着
III	8 9 10	充実	○校内研修・学習指導の充実 ○自律的な生活と学習態度の確立
IV	11 12	発展	○学習指導の充実・発展と確実な定着 ○認め合い・磨き合いを基にした向上心の育成
V	1 2 3	評価 まとめ	○学校評価・教育評価の活用 ○学習・生活のまとめと新年度の準備

